



馬込中学校だより

令和6年2月1日発行
大田区立馬込中学校 10号

馬込中HP:<https://www.ota-school.ed.jp/magome-js/>

人生を左右した「見直し」

副校長 中山 泰

2月が始まりました。2月は3年生にとって重要な月です。10日から多くの私立高校、21日には都立高校の一般入試（学力検査）がそれぞれ行われます。是非自信を持って入試に臨んで下さい。学校もご家庭と一体となって子どもたちを支援していきます。今回は、生徒の皆さんが大切な試験に臨むに当たって、私自身の経験を振り返って「見直しの大切さ」についてお伝えします。

それは東京都の教員採用試験の時でした。教員を志望していた自分にとっては勝負の日、この日のために何年も勉強してきました。受験した中学社会の教科は定員に対して志願者が多いため競争率が高く、1点2点の差が合否に大きく影響しました。専門教科の試験時間は90分で何ページかにわたる問題用紙と1枚の解答用紙が配られました。大問が8問くらいあってそれぞれ5～10問ほどの設問があったと記憶しています。大問1問目はどれもスムーズに答えられました。大問2問目の設問は5つあって世界各地の農業地帯に分布する土壌について問われる問題でした。設問1はすぐ分かり解答用紙に記入できましたが、設問2は頭の先まで答えが浮かんでいないけれど用語になって出てきませんでした。少し考えても思い出せないのでもう一度後回しにして次の設問3以降の問題に進みました。そこから先はスムーズに答えられて順調に解答用紙に答えを記入していきました。最後の問題を解いた後、大問2の設問2にもどって土壌の問題を見直してみると「あっそうだ、これだ」と土壌名を思い出し、すぐに解答用紙に答えを書きました。ほっとして、時計を見てみると開始から60分を少し回ったところでした。終わった人は終了時間前でも会場を出ていいことになっていましたが、時間いっぱいまで見直すことにしました。

最初の問題から最後まで見直してみましたが書き直さねばならない点は見つかりませんでした。「よし！」という気持ちになりました。しかし同時になんとなくモヤモヤとした気持ちになりました。モヤモヤの原因は分かりませんでした。「やることはやった」という気持ちになり終了時刻を待つことにしました。この時点で開始から80分弱、あと10分少々で終了時刻を迎えます。目を閉じて終了の合図を待ちました。黙想している中で先ほどから感じるモヤモヤ感が甦ってきてなんとなく不安な気分になってきました。不安な気持ちに耐えられなくなり再度見直しをすることにしました。大問1から見直しをすすめ、大問2の解答欄を見たとき身体が凍り付きました。設問2からの答えを解答欄にずらして書いていることに気づいたのです。設問2を後回しにした後、設問3の解答を設問2の解答欄に、設問4を設問3の解答欄に・・・、そして後で思い出した設問2の解答を設問5の解答欄に書いていたのです。この時先ほどから感じていたモヤモヤの原因がハッキリわかりました。次の瞬間、身体中の毛穴から一斉に汗が噴き出し解答用紙が汗で濡れ、気持ちがパニック状態になりました。時計を見ると残り時間は5分。普通に考えれば5分あれば5問程度の書き直しは十分できますが、慌てていて何から手をつけたらいいか分からなくなっていました。ずらした解答を消そうとしましたが、消してしまうとそれぞれの解答を忘れてしまいそうでできませんでした。まずは落ち着くことが大切と考え「落ち着け」「落ち着け」と自分に言い聞かせ二三回深呼吸をして数十秒目を閉じクールダウンをしながら書き直す手順を考えました。少し落ち着いてきて、ずらして書いた各解答欄の欄外に正しい順番で解答を書き、その後ずらして書いた解答を消し欄外の用語を見ながら書き直すことにしました。もう一度深呼吸をしてこの作業に移り全部無事に書き直すことができました。時計を見ると残り時間は1分を切っていて鉛筆を置いて間もなく試験終了のチャイムが鳴りました。

数週間後、「一次試験合格」のハガキが届きました。二次の面接も無事通り合格、念願の東京都の教員に採用され、今日まで勤め上げることができました。もし、あの時再度の見直しをしていなければ不合格だったでしょう。その後の人生も大きく変わっていたはずで、今この場にもいなかったでしょう。

これから受験に臨む皆さん、最後の最後まで油断することなく、時間をいっばいに使って、何度も見直し、悔いの残らない受験にしてください。

新聞コンクール 最優秀賞受賞！

大田区中学校新聞コンクール学校新聞の部で、生徒会新聞「蛭雪」が最優秀賞を受賞しました。

最優秀賞受賞は6年連続、馬込中学校生徒会の伝統になっています。蛭雪は、生徒会役員を中心に学校行事や平素の学校生活について取材やアンケートの結果をまとめ記事にしています。単に事実を述べるだけでなく筆者から見た課題や思いも記述されていて、ときには問題提議をして読者に呼びかける記事もしばしば目にします。学校新聞としてとてもレベルの高い新聞です。今年度発行した「蛭雪」は来校者玄関正面に掲示しています。



地域清掃

今年度3回目の生徒会主催の清掃活動を1月10日(水)に実施しました。今回は校外に公園や遊歩道などのゴミやペットボトルなど集めました。寒い中でも地域の美化に貢献でき、爽やかな気分になりました。

第3回学校公開 アンケートへの協力ありがとうございました。

1月20日(土)の学校公開には多くの保護者、地域の方にご来校いただき、33人の方にアンケートに回答いただきました。今回のアンケート結果は表の通りです。自由記述の感想や学校に対するご意見では「先生と生徒の距離が近くてみんな楽しく授業を受けていたように見えました」(1年)、「生徒とコミュニケーションをとって理解させる授業をしていた」(2年)、「馬中の生徒主体の活動をさせていただける方針がとても良かったです」などのご感想が寄せられました。また「IoT化と『情報』教育の推進を強く望みます」(1年)等のご意見もいただいています。今後の学校改善に役立てていきます。

子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた			
評価	回答数	割合	回答者数 33
A	30	66.7%	有効回答数 45
B	15	33.3%	
C	0	0.0%	
子どもたち一人一人の活動が充実していた			
評価	回答数	割合	回答者数 33
A	26	57.8%	有効回答数 45
B	18	40.0%	
C	1	2.2%	

ものづくり教育・学習フォーラム、連合書初展

1月13日(土)産業プラザP I Oで行われた、ものづくり教育・学習フォーラムで馬込中学校から代表生徒の作品が展示されました。また1月20日から26日まで池上会館で開催された連合書初展でも代表生徒の作品が展示され、最終日の26日には席書会が行われ1年2組〇〇〇〇さん、3年2組〇〇〇〇さん、2年3組〇〇〇〇さんの3名が参加しました。また〇〇〇〇さんの作品は公立学校美術展覧会にも出展されます。ものづくり教育・学習フォーラムと連合書初展の代表生徒と作品は次の通りです。

ものづくり教育・学習フォーラム

1年1組〇〇〇〇さん「棚付き本立て」 1年2組〇〇〇〇さん「ツールケース」
 2年1組〇〇〇〇さん「調味料スタンド」 2年2組〇〇〇〇さん「ハーフパンツ」
 3年2組〇〇〇〇さん「機械」 3年2組〇〇〇〇さん「幼児の喜ぶもの」

連合書初展 1年:「地域交流」「高原の花」 2年:「将来の夢」「遠い銀河」 3年:「梅花香る里」「不断の努力」

1年1組〇〇〇〇さん 1年2組〇〇〇〇さん 1年2組〇〇〇〇さん 1年2組〇〇〇〇さん
 2年1組〇〇〇〇さん 2年2組〇〇〇〇さん 2年3組〇〇〇〇さん 2年3組〇〇〇〇さん
 3年1組〇〇〇〇さん 3年1組〇〇〇〇さん 3年1組〇〇〇〇さん 3年2組〇〇〇〇さん
 1年4組〇〇〇〇さん 2年4組〇〇〇〇さん 3年4組〇〇〇〇さん 3年4組〇〇〇〇さん



2月予定についてのお知らせ

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
1	木		16	金	新入生保護者説明会
2	金	社会科見学(2) 都立推薦合格発表 百人一首大会(1)⑤⑥	17	土	
3	土	PTA運営委員会(図書室)	18	日	
4	日		19	月	定期考査前補習
5	月	全校朝礼 安全指導	20	火	定期考査前補習
6	火	連合技芸展終 都立高一出願終	21	水	定期考査前補習 特支連合作品展始 都立高一学力検査
7	水	水曜補習 1年研究授業	22	木	定期考査前補習 お別れ遠足(4)
8	木		23	金	天皇誕生日
9	金	避難訓練(津波) 地域教育連絡協議会③	24	土	
10	土		25	日	
11	日	建国記念の日	26	月	第4回定期考査
12	月	振替休日	27	火	第4回定期考査 特支連合作品展終 PTA講演会
13	火		28	水	第4回定期考査 専門委員会
14	水		29	木	中央委員会 領域診断テスト(2)
15	木	定期考査前補習			

PTA講演会

2月27日(火)13時から一般社団法人大森倶楽部主催の家庭教育講演会が本校図書室で開催されます。講師はNPO法人大田家庭教育研究所長の田島身衣子先生。テーマは「やる気スイッチを探そう」お子さんの“やる気”を育てるために子どもの心に響く親子の触れ合いについて講演されます。是非ご来校ください。

特別支援学級連合展覧会

4組生徒が日頃の学校生活の中で制作した作品を発表します。

期間：21日(水)から27日(火)まで

場所：池上会館1階展示ホール